



神戸市議員 (須磨区) **せい い ち**

# むらの誠一 33才

人は人の為に尽すを以って本分とすべし

曾祖父 村野山人 (神戸村野工業高等学校創立者)  
の遺志を継ぎ政治家を志す

所属政党 無所属

所属会派 自民党市議員団

所属委員会 港湾交通委員会 (副委員長)  
大都市税財政制度確立委員会

経歴

- ・昭和49年2月2日 神戸市須磨区に生れる
- ・須磨浦小学校 卒業
- ・高倉中学校 卒業
- ・とび職として働きながら、大学入学資格検定取得
- ・芦屋大学(教育学部) 卒業
- ・兵庫県議会議員 故 伊田 宏 秘書
- ・衆議院議員 砂田圭佑 秘書
- ・平成15年 神戸市議員選挙 初当選

## 子供参観、実現へ！「子供は、大人の背中を見て育つ」

### 質 むらの議員 (平成15年本会議 議案外質問)

子供は、大人の背中を見て育つと言われます。しかしながら、私たちの日常を振り返ってみますと、子供たちにとって最も身近な大人でもある父親は、子供に恥ずかしくない背中を見せているのでしょうか。往々にして毎日の仕事で疲れた、休日の姿ばかりを子供たちが目にしているように感じます。

そこで父親の職場を訪れ、実際に働く姿に触れる機会を設けるようないわば父親参観の逆をいく子供参観とも言うべき施策は考えられないでしょうか。今日失われがちだとされる父性の確立という点からも、意味のある取り組みと考えますが如何でしょうか？

### 答 矢田市長

同感でございます。やはり今、一番期待をされているのは父親、そして母親という事は間違いないと思います。子供たちに対する取り組みというのをよく考え、そして実行しなければいけないというふうに思っております。

(議事録要約抜粋)



2004年(平成16年)8月17日 火曜日

子どもたちに働くこと、神戸市は「六日」所に招く「職場見学会」の大切さを考えてもらう職員の子どもたちを市役所を回した。子どもたちは

子どもら職場見学会  
市役所「いつもよりまじめ」

子どもたちは働くこと、神戸市は「六日」所に招く「職場見学会」の大切さを考えてもらう職員の子どもたちを市役所を回した。子どもたちは

親の背中頼もしい

念んとは少し違う親の姿に戸惑いながら、興味深そうに仕事の中心について質問していた。

働く意欲や将来の夢を捨てない子どもたちの増加が指摘され、市は職業観を育てるキャリア教育の一環として産官の政令市では初めて、本年度から「大人・親の働く姿を見せる運動」を始めた。

職員十五人の子ども計二十八人が参加。幹部職員らが重要施策を論議する特別会議室で市の業務全般を説明した後、市営本会議場や消防管制室などを回した。

父親から市の仕事について説明を受ける子どもたち—神戸市役所

## お手伝いさせていただきました。

北須磨小学校に  
念願の屋根付き  
渡り廊下が完成！

今までは、傘を差して給食を運んでいましたがこれからは、雨に濡れずに移動が出来るようになりました。



西須磨小学校前  
のカラー舗装

児童による学校正門からの飛び出し事故を防止する為、通行車両に速度減少等の注意を促すカラー舗装をやり直しました。



クリーンな政治へ情熱は止まらない!!

むらの誠一は特定の企業・団体からの献金を一切頂いておりません。

つづく